

沼津市青少年教育センター

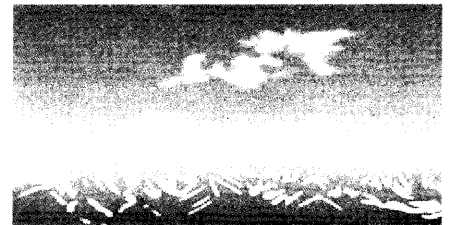
# たより

平成25年12月号 No. 505

〒410-0881 沼津市八幡町97番地 ☎(055)951-3440 FAX(055)952-3300

## 取り戻そう、貴重な時間

生涯学習課長 宮下 義雄



生涯学習の重要性が叫ばれ始めてから、何年が経つでしょうか。学びは学校教育だけではなく、人生のいつの段階でも有用有益なものです。高校や大学を卒業して仕事に就いてからも、その仕事に関連して学ばねばならないことは山ほどありますし、家庭でも地域でも、さらには趣味の世界でも、自分を取り巻くそれぞれの環境には常に学びの要素がたくさんあります。

子育てが終わり、仕事もリタイアされた方々は、とりあえずは肩の荷を下ろし、ホッとされるのではないのでしょうか。しかし多くの皆さんは、今度は自らの人生の充実のために、極めて積極的に、新たな学びを始められます。それは単に学ぶことの喜び・面白さを追求するというだけではなく、その過程でたくさんの（知）縁を結ぶこと、つまり仲間を増やすことを是として学びの場に向かっているのだと感じます。そういう意味では、学びは手段なのであって、目指すべきは人と人とのつながり、そしてそこから生まれ出る豊かな思い出（経験）なのかもしれません。

しかし、この思い出作りのできる最も顕著な場は、実は学校生活なのではないのでしょうか。乳児のうち、家庭での親子関係が生活のほぼすべてですが、学校に行けば、そこには同世代の仲間がたくさんいて、またご指導くださる先生方もいらっしゃいます。その仲間や先生方と学校で過ごす時間は、家庭だけでは得ることのできない、生涯にわたっての貴重な宝となります。

今や日本人の平均余命は80年を超えています。その中で、小学校の6年間、中学校の3年間、合わせて9年間は、長さでは全体の1割強かもしれませんが、人間形成においては、相当に重要な、そして輝かしい期間です。しかしこの大事な時期に、その学校に通うことのできない児童生徒がいます。いわゆる不登校です。なんともったいないことでしょう。

青少年教育センターでは、全職員が一丸となって、この不登校状態となってしまった児童生徒の、かけがえのない貴重な時間を少しでも取り戻せるように、保護者の皆さんとともに真摯に向き合っています。

一人で思い悩み、あるいは心に大きな不安を抱えて辛い思いをされている皆さん、ぜひ一度電話をしてみてください。一歩踏み出すことにより、一筋の光が見えてくるのではないのでしょうか。

# 高校生による落書きクリーン作戦

落書きクリーン作戦は、平成 13 年度から始まり、今年度で 13 年目を迎えました。今年は誠恵高校芸術コースの生徒さんたちが、共栄町にある公園の遊具の落書きをペンキで塗りつぶす作業をしてくれました。



\*\*\*\*\*

今まで、公園などの公共物の落書きを目にしても何も感じたりしないで、ただ何か書いてあるなとしか思っていませんでした。ですが、ボランティアに参加をして公園の落書きを見た時にショックを受けました。一見何も落書きをされていないように見えても、隠れた場所には、たくさんの落書きが書いてあって楽しく遊ぶはずの公園が汚

されていました。私は、こんな所に落書きをする人の気持ちがわかりません。みんなの楽しい気分を害する行為がなくなれば良いと思います。そのためには、落書きを書こうとする人がいたら注意をしたり、落書きを見つけたらできるだけ消すように努力をしていきたいです。

\*\*\*\*\*

(伏見恵ノ葉)

自分は、公園の落書き消しに行きました。子どもたちの遊ぶ遊具には、たくさんの落書きが書いてありました。落書きの中には、子どもによくない言葉がたくさん書いてあり、唖然となりました。落書きを書いた人の中には大人もいるのだろうかと思うと少し残念な気持ちになりました。落書きを書いた人は、書いたとき満足するかもしれません。でも、子どもたちが嫌な気持ちになるのは確かです。でもこうして自分たちが落書きを消すことによって、子どもたちが楽しく遊ぶことができたらいいと思います。

(齋藤京太郎)

\*\*\*\*\*

ボランティア活動に参加することになった時、最初は「面倒だな」と思いました。落書き消しなんて大人がやれば良いという思いがあったからです。ボランティア当日、公園の遊具を見てもとひどいありさまでした。悪口だったり友情の証らしきものだったり、いろんな落書きがありました。それらは多分、私と同じくらいの年の人が書いたのだらうと思います。これを小さな子どもたちが見ていると思うと、胸が痛みました。ペンキを塗りきれいになった遊具を見て、私たちが、この作業をした意味を感じました。同じくらいの年の人たちがしている落書き。それがいけないことだということを、今回ボランティアをした私たちが伝えていこうと思います。

(望月 琴美)

# 面接相談



◎非行・不登校・発達・子育て・進路・対人関係など  
 青少年に関する面接相談。  
 ◎相談および申し込み受け付け時間：  
 午前9時～午後5時 月～金曜日（祝祭日を除く）  
 ◎相談申し込み：TEL 951-3440

## 平成25年10月・11月の状況

10・11月には新たに申込みがあった8件（10月3件、11月5件）を含め、  
 46件（延べ相談回数296回）の相談に応じました。

### 1. 相談内容別新規相談件数

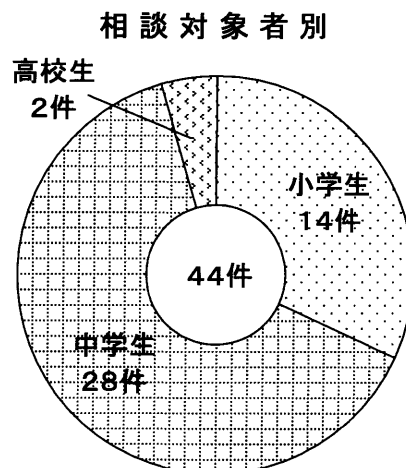
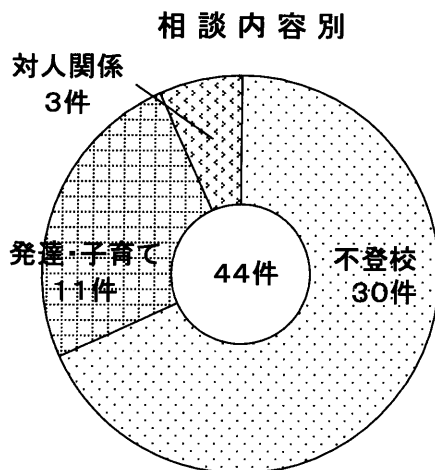
	非行	不登校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	その他	合計
10月	0	3	0	0	0	0	3
11月	0	3	1	0	1	0	5

### 2. 相談対象者別

	幼児	小学生	中学生	高校生	少年	一般成人	合計
10月	0	0	3	0	0	0	3
11月	0	3	2	0	0	0	5

### 3. 今年度の新規相談受付状況

受付件数 44件 （前年同期 41件）



#### 4. 10・11月に応じた相談件数（新規相談＋継続相談）

対象	性別	非行	不登校	子育て・発達	進路・適性	対人関係	その他	計
幼児	男							0
	女							0
小学生	男		5	1				6
	女		3	1				4
中学生	男		11	2		1		14
	女		13	1		1		15
高校生	男		1			1		2
	女							0
少年	男				1	2		3
	女				1			1
一般成人	男					1		1
	女							0
計	男	0	17	3	1	5	0	26
	女	0	16	2	1	1	0	20
男女合計		0	33	5	2	6	0	46

#### 5. 10・11月の相談回数（46件の相談に要した延べ回数）

月	性別	面接	訪問	その他	合計
10・11月	男	84	30	67	181
	女	94	7	14	115
	計	178	37	81	296

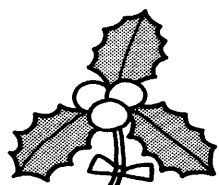
### 相談指導学級 学級担当

10月末から12月初旬にかけて、1泊2日のオータムキャンプ、新体カテスト、狩野川放水路の見学、葦山自主見学など体験活動を行いました。個々がそれぞれに集団の中の役割があり、集団の一員であるという自覚を持つとともに、所属感も感じたことと思います。当学級の最終目標は学校への復帰、社会的自立にあります。前述のような体験活動を年間20～30回実施していますが、この様々な体験活動が精神面のケアと学級目標達成への大きな役割を担っていることは確かであり、児童生徒の心理的回復を願っています。

また毎日通級する目的の一つに、学習を少しでも取り戻すこと、学校へ戻った時に学習習慣が壊れていないようにすることがあります。午前中に45分の学習を2回行っていますが、落ち着いて静かに取り組んでいます。この前向きな姿勢も大切にしたいと思います。

現在、学校に完全復帰した生徒、部分復帰できた生徒がいますが、新たに通級を始めた児童生徒もいます。子どもたちの個人的な課題解決に向けての取り組みに、そして自信回復を目指して、継続的な支援をしていきます。

# 電話相談



◎非行・不登校・発達・進路・対人関係など青少年に関する相談。

◎相談時間：午前10時～午後7時 月～金曜日  
(祝祭日を除く)

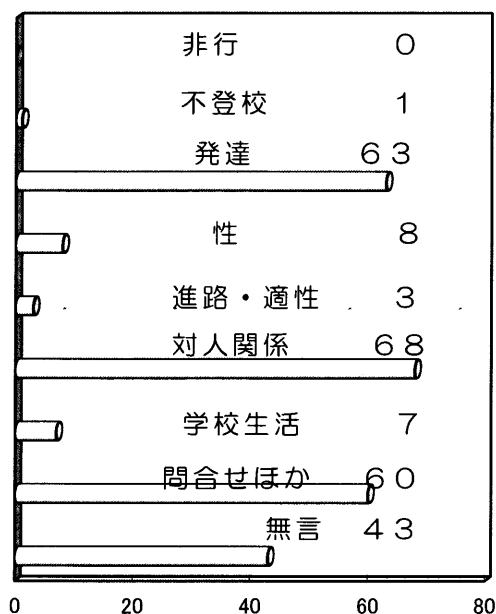
◎愛称：やまびこ電話 951-7330

## 平成25年10月・11月の状況

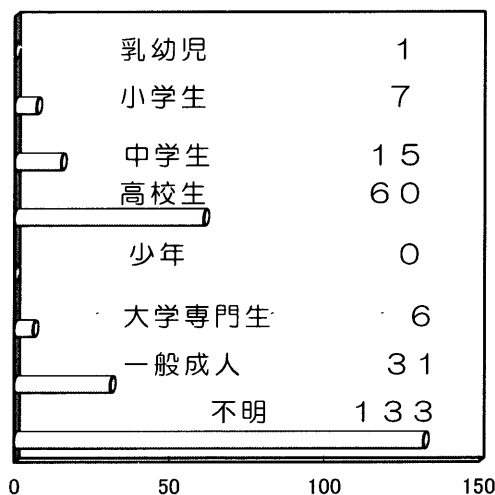
10月には143件、11月には110件の相談が寄せられました。  
(前年10月：208件、前年11月：292件)

### 1. 10・11月の相談状況

相談内容別件数



相談対象者別件数



### 2. 今年度の電話相談受信件数状況(平成25年度)

総件数 1,555件 (前年同期 1,592件)

#### (1) 相談内容別

内容	非行	不登校	発達	性	進路・適性	対人関係	学校生活	問合せほか	無言
件数	2	6	389	60	6	250	15	353	474

#### (2) 相談対象者別

内容	乳幼児	小学生	中学生	高校生	少年	大学専門生	一般成人	不明
件数	1	49	70	283	2	9	220	921



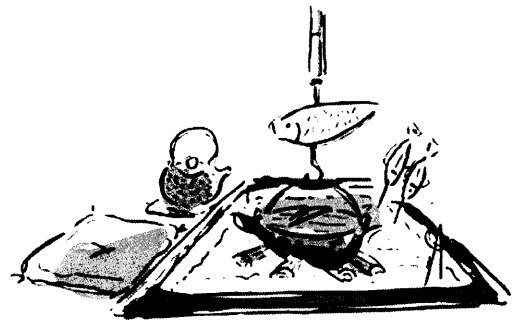
# 一生懸命

地区補導委員 杉本 信夫

たいていの物事は、楽しいからやるというよりもやっているうちに楽しくなる場合が多いように思う。客観的に楽しい事など何処にもない。楽しさや充実感、それに取り組む人の内側からわいてくる。だから「やる気になる」ことが楽しさ探しの出発点と言っても良いだろう。

何事もいやいや最小限のノルマを果たすだけの仕事をしていると、そこには義務感しかない。もしこのような状態で補導活動に出ても良い結果は得られるはずもない。声かけした少年からは反抗的な言葉がかえってきてしまう。それならむしろすべてに前向きになって「よし」と気合よく挑戦していった方が良い。意欲があれば智慧がわくし、工夫も生まれて達成感も味わえる。「一生懸命」こそ楽しさの良薬である。中途半端では楽しさも充実感も逃げていく。良い結果も出ないし悔いと疲れが残る。真剣にやった場合と労力もそんなに変わらないはず。せっかくの自分の行動を喜びと感激に変えていくためにも「一生懸命」を大切にしたい。

声かけした少年達からご苦労様と明るい声がかえってきたらしめしめである。



## 1 少年補導委員の延べ参加人数（10月・11月）

区別	市職員	教員	地区 補導委員	女性 補導委員	母親 補導委員	警察関係	総数
10月	9	18	332	16	0	1	376
11月	7	12	305	9	3	1	337

## 2 補導回数・補導状況（10月・11月）

	補 導 回 数				声かけ 注意・指導	事 後 指 導	
	午前	午後	夜間	計		学校・親等へ連絡	他機関へ連絡
10月	4	6	36	46	158	0	0
11月	3	7	36	46	128	0	0

## 3 平成25年度 4月からの補導活動累計

補 導 回 数	延べ 参加補導委員数	声かけ 注意・指導	事 後 指 導	
			学校・親等へ連絡	他機関へ連絡
349	2,865	918	0	0

# 10月・11月の街頭補導少年の学職別状況（中央補導・地区別補導）

10・11月は、各学校とも体育祭や文化祭のシーズンで代休が多く、平日の昼間でも街に小・中・高校生の姿が多く見られた期間でした。特にゲームセンターは、月曜日など大盛況の日があり、子どもたちの休日の過ごし方についてあらためて考えさせられました。

学 職 別 区 分		性別	小学生	中学生	高校生	その他学生	有職少年	無職少年	計	四月からの 累計
行 為 種 別	飲 酒	男							0	
		女							0	
	喫 煙	男							0	
		女							0	
	夜 間 は い か い	男			2				2	22
		女			2				2	10
	不 良 交 友	男							0	
		女							0	
	怠 学 ・ 怠 業	男							0	
		女							0	
	ゲームセンター入場	男	20	69	44				133	347
		女	13	18	15				46	137
	パチンコ店入場	男							0	
		女							0	
	カラオケ店入場	男							0	10
		女							0	14
	自転車の暴走行為	男							0	
		女							0	
自転車の二人乗り	男		3	2				5	17	
	女		1	2				3	11	
自転車の無灯火	男	1	9	2				12	36	
	女		3					3	14	
危 険 な 遊 び	男							0	12	
	女							0	6	
そ の 他	男	4	10	34				48	171	
	女	3	16	13				32	111	
計		男	25	91	84	0	0	0	200	615
		女	16	38	32	0	0	0	86	303
男 女 合 計			41	129	116	0	0	0	286	918

事 後 指 導	家庭・学校・職場へ連絡	男							0	
		女							0	
	他 機 関 へ 連 絡	男							0	
		女							0	
合 計			0	0	0	0	0	0	0	0

## 情報コーナー

### 知っていますか？

保護者同伴でも 午後6時以後

#### 16歳未満の青少年のゲームセンター入場禁止

12月13日は、県内一斉冬季少年補導でした。各地域の補導委員さんたちが市内や郊外を巡回してくれました。

沼津市小・中学校生徒指導における共通指導項目の1つに「友だち同士でのゲームセンター（ゲームコーナー）・カラオケボックス等への出入りは禁止」があります。

さらに県の条例では、ゲームセンター経営者等は、16歳未満の青少年を保護者同伴に関わらず午後6時以後入場させてはならないことになっています。

また、保護者は青少年を、夜11時～翌朝4時までの間は外出させてはいけないことになっています。（深夜外出の制限）ただし例外として、通勤、通学等正当な理由がある場合は可です。



### センターの活動予定（1月・2月の主な活動予定）

日 程	活動（行事）予定	日 程	活動（行事）予定
2月14日（金）	青少年健全育成地域相談員研修会	1月16日（木）	【体験活動はばたき】 創作体験1 事業所見学 創作体験2 ※天候等諸事情により、変更することがあります。
2月28日（金）	第5回補導委員会代表者会	1月23日（木）	
		2月13日（木）	

### 明るい子どもが育つまち

青少年健全育成シンボルマーク



青少年健全育成都市宣言（昭和55年）

**あいさつで ひろがる愛の輪 地域の輪**

青少年を、優しく温かい心で包み込むという思いから、右側は笑顔、左側は手のひら、全体はハート（心）を表しています。